



地下鉄・近鉄〈日本橋〉駅下車7号出口より東へ徒歩1分

独立行政法人日本芸術文化振興会

国立文楽劇場

の概要

THE NATIONAL BUNRAKU THEATRE OF JAPAN



 国立文楽劇場

〒542-0073

大阪市中央区日本橋1丁目12番10号

TEL 06-6212-2531(代表)

<http://www.ntj.jac.go.jp/>

事業

(1) 伝統芸能の公開

国立文楽劇場では、我が国の伝統芸能である「人形浄瑠璃文楽」の公演のほか、舞踊・邦楽・大衆芸能・特別企画等の公演を行い、伝統芸能の保存と振興に努めています。

また、新たな観客層の開拓を目指し、青少年等を対象にした「文楽鑑賞教室」を実施しています。

(2) 伝承者の養成

伝統芸能の保存・振興を図るために伝承者の養成、研修を実施しています。昭和47年に国立劇場（東京都）で開始された文楽技芸員（大夫・三味線・人形）の養成は、昭和59年以降、国立文楽劇場に本拠を移して行われています。



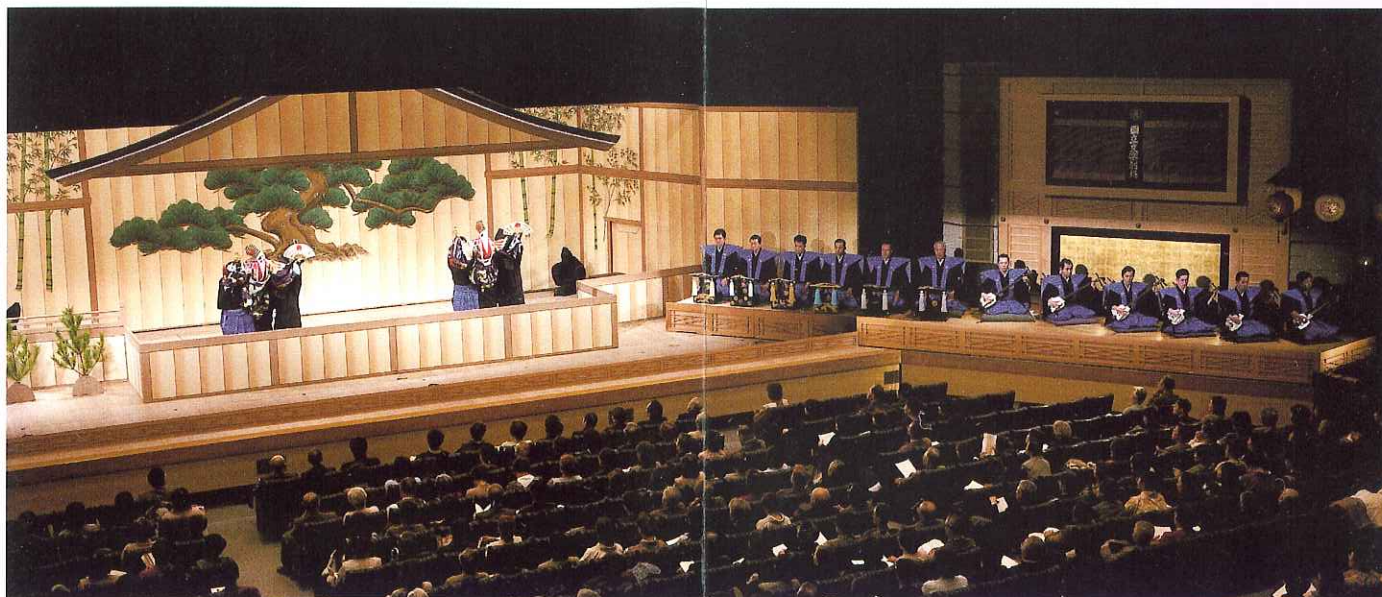
舞台と客席



1階エントランスロビー



2階ロビー



舞台（公演）

(3) 調査研究並びに資料収集・活用

録画・録音・写真等による公演記録の作成を行い、定期的に「公演記録鑑賞会」を実施しています。

また、伝統芸能の理解及び普及を図るため、文楽をはじめ各種芸能資料の収集に努め、閲覧室の公開、展示室での芸能資料の展示等を行っています。



展示室

(4) 劇場施設の利用

国立文楽劇場では、自主公演等で必要な日を除き、劇場施設（文楽劇場・小ホール）を伝統芸能（舞踊・邦楽・演芸等）の保存・振興を目的とする事業その他の利用に供しています。



研修室



小ホール

(5) その他

この他にも「国立文楽劇場友の会」を設立し、伝統芸能の愛好者の方々に、より便利に国立文楽劇場の公演をご覧いただけるようにするなど、観客の皆さまに対するサービスの向上に努めています。

また「文楽応援団」によるボランティア活動に対する支援等も行っています。

施設概要

所在地 〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号

敷地面積 4,464㎡

建築面積 3,925㎡

延床面積 13,211㎡

構造規模 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
地上5階・地下2階

主な構成

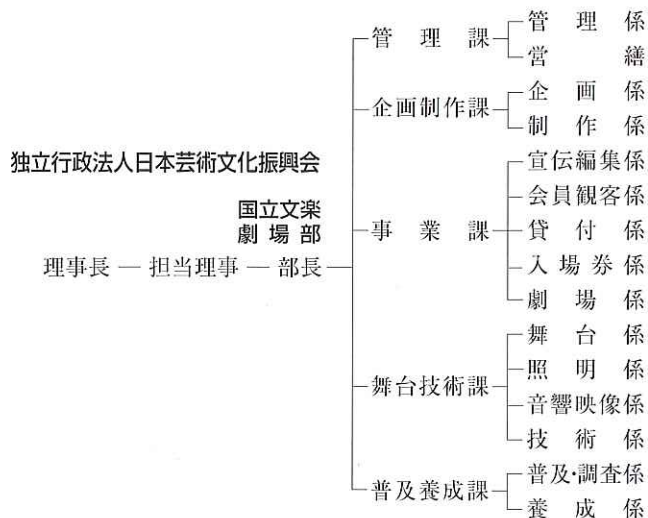
5階	事務室 研修室
4階	(財)文楽協会 研修室
3階	小ホール 閲覧室
2階	文楽劇場
1階	展示室 入場券売場 食堂(レストラン) 事務室
地下1・2階	機械室 電気室

客席数 文楽劇場 753席 (出語り床設置時731席)
(花道設置時677席)

小ホール 159席

設計者 (株)黒川紀章建築都市設計事務所

組織図



年間の主な文楽公演

1月	本公演	大阪 国立文楽劇場
2月	本公演	東京 国立劇場
3月	地方公演	(財)文楽協会主催
4月	本公演	大阪 国立文楽劇場
5月	本公演	東京 国立劇場
6月	文楽鑑賞教室	大阪 国立文楽劇場
7～8月	本公演	大阪 国立文楽劇場
9月	本公演	東京 国立劇場
10月	地方公演	(財)文楽協会主催
11月	本公演	大阪 国立文楽劇場
12月	本公演 文楽鑑賞教室	東京 国立劇場

客席図

